



ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Opens Opportunities

2020-2021

第12回例会

RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Open Opportunities

クラブテーマ

原点から未来へ Get Back To the Future

会報

No. 1127

豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：角谷 歩、副会長：西 崇秀、幹事：木所 壮太、出席・会報委員長：鈴木 康代

令和2年10月14日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA 担当：R 財団・米山奨学

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」：川西 裕康 さん

ゲスト 米山奨学生 白 宰鉦 (ベック ジェヒョン) 君

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	9月30日修正出席率	ビジター
51名	45名	6名	9名	80.00%	100%	0名

会長挨拶

角谷 歩 会長

謹んで故山口登さんのご冥福をお祈りします。山口さんは銀行の先輩で、20年前に豊橋支店長として当地に赴任した時も、8年前に当クラブ会員となった時も、あの笑顔で私の緊張を解きほぐしてくれました。今一度感謝を申し上げます。2点ご報告。新型コロナに関する諸状況を総合的に勘案、今回より円卓方式に戻しますが、マスク着用・手指消毒等基本動作は引き続き継続をお願いします。また、補助金事業については、目的を「交流」から「学習」「継承」に力点を移して、ゼロベースで再構築していきます。

本日のプログラム

『日本近代文学について』

米山奨学生 白 宰鉦 (ベック ジェヒョン) 君

皆さんこんにちは、米山奨学生のベックと申します。今回はこのような機会を頂きありがとうございます。私は韓国のインチョンの出身です。インチョンには国際空港があり、幼いころから、学校行事などで国際空港に行くことが多く、そのような環境から、私が海外に興味を抱ききっかけになっていました。またインチョンには、仁川上陸作戦記念館という朝鮮戦争をテーマに建てられた記念館があり、その影響から私は歴史に興味を抱きました。私は本を読む事が好きで、中学生の時に「人間失格」を読み、日本文学に大変興味を持ちました。著者の太宰治が一番に影響を受けた人物が芥川龍之介だと知り、芥川作品を読み進めて行くうちに、色々と考えさせられる事が増え、このまま読んだだけで終わらせたくないという気持ちを持つようになりました。高校を出てもその気持ちは消えることはありませんでした。その様な経緯から、私は日本語を学び、日本で芥川作品について勉強したいと思いました。今、大学の卒論を書いています。論文を書き進めている中



で調べて行くうちに、私達が生きていく中で役立つと感じた思想を知りました。最後に皆さんにお話しして終わりたいと思います。幸福の尺度には3つの観点があります。「楽しい生き方」、「良い生き方」、「意味のある生き方」です。私は我々の目指す生き方は「意味のある生き方」ではないかと思っています。私にとって「意味のある生き方」とは何かと考えました。私は面白い物語を書くことが夢です。そして売れる小説を書く事です。売れるというのはお金ではなく、より多くの人に自分の考えを伝えたいからです。それによって読んだ人が、私のように海外に興味を持ち、色々な可能性を広げることができればと思っています。その様な考えから、私は現代人の思想に合った売れる小説を書く事が、私の「意味のある生き方」と考えています。

山口 登 さんを偲んで

中嶋 秀樹 さん 山口さんが体調不良と聞いたのは9月の最初の例会でした。9月の終わり頃、個人的にお会いした時は通院されていて近々検査入院するとおっしゃっていました。

10月に入り連絡した時、明日から入院すると聞きました。その後10月7日、理事会の日に奥様から、お亡くなりになったと連絡を頂きました。家族葬という事でしたが、お会いできる機会を頂き、会長、幹事、中野さんと私でお別れに行って参りました。

中野 亘 さん 山口さんとはヤマサの常務としてというよりは、友人として、互いの会社を行き来したり、一緒飲みに行ったり、仲良くさせて頂きました。いつも周りに気を遣って下さる方でした。私がロータリークラブの会長を務め、大変な1年を終えた年、山口さんが私のために慰労会を開いて、ねぎらってくれました。とても気持ちが救われました。本当に心の温まる、心配りの素晴らしい方でした。



原稿：新本 康欽 さん / 写真：荒木 聖行 さん